

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

岐阜中央部地区

令和6年3月

岐阜県岐阜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
					評価値	見込み・確定の別		目標達成度				1年以内の達成見込み			理由
指標1	にぎわい拠点利用者数	人/年	2,325,110	2,495,000	2,300,332	確定	△		あり	2,256,262	R5年12月	△	-	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	にぎわい拠点利用者数は、コロナ禍の影響等で利用者が大きく減少していることから目標値の達成は困難なものの、令和2年度から4年度にかけ、大きく回復基調にあり、一定のにぎわい創出効果が発現していると考えられる。
						見込み			●					なし	
指標2	イベント開催回数	回/年	120	140	144	確定	○		あり	128	R5年12月	△	-	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	イベント開催回数は、拠点の一つである金公園の工事期間中の利用ができなかったにも関わらず、その他の拠点で、多くのイベントが開催され、従前値を上回った。 令和5年2月に整備が完了した金公園では、完了後1か月でイベントが13回開催され、今後も多くの開催が見込まれる。
						見込み			●					なし	
指標3	居住人口	人	12,881	12,900	12,494	確定	△		あり	12,660	R5年12月	△	-	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	地区内の居住人口は、依然として減少が続いているものの、減少幅に改善が見られた。 住み心地の良い環境整備や都市サービスの集積により、まちなか居住環境の形成が進められたと考えられる。
						見込み			●					なし	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	イベント開催時の柳ヶ瀬の入り込み客数	人/日	31,108		32,274	確定 見込み				R 年 月		-	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	柳ヶ瀬地区のイベント開催日の入り込み客数は増加しており、にぎわいを創出していると考えられる。
その他の数値指標2	中心市街地の空き店舗率	%	8.1		5.9	確定 見込み				R 年 月		-	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	中心市街地(柳ヶ瀬地区)における店舗の空き店舗率が改善していることから、地区内の店舗充実により、地区の魅力が高まっていると考えられる。
その他の数値指標3	計画区域の社会増減数	人/年	14		44	確定 見込み				R 年 月		-	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	中心市街地における社会増減数とマンション住戸供給量が増加していることから、まちなか居住の需要が高まっていると考えられる。
その他の数値指標4	中心市街地のマンション住戸供給率(新規)	戸/年	64		149	確定 見込み				R 年 月		-	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	岐阜駅周辺から岐阜公園までをつなぐ「センターゾーン」の4つのエリア(駅周辺エリア、柳ヶ瀬エリア、つかさのまちエリア、岐阜公園エリア)において、引き続き整備事業等を実施し、魅力向上を図り、さらなるにぎわいの創出を目指す。	中心市街地における道路空間のまちづくりの活用を推進している。	道路空間利用に関する基本計画の策定に向け、社会実験を行い、にぎわいを創出した。	道路空間利用に関する基本計画の策定及び、基本計画を基に道路空間の整備を進め、にぎわいの創出を図る。
	新たな都市の魅力、住み心地の良い住環境を創出することで、計画エリアの活性化を図る。	岐阜駅周辺の歩行者用のデッキ整備を進めている。	中心市街地における社会増減数とマンション住戸供給量が増加していることから、まちなか居住の需要が高まっていると考えられる。	引き続き岐阜駅周辺の歩行者用デッキ等の整備を進め、住みよい住環境の創出により、計画エリアの活性化を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	にぎわい拠点の魅力向上と、その拠点をつなぎ回遊性を高め、相乗効果を生み出す。	中心市街地における道路空間のまちづくりの活用を推進している。	道路空間利用に関する基本計画の策定に向け、社会実験を行い、にぎわいを創出した。	道路空間利用に関する基本計画の策定及び、基本計画を基に道路空間の整備を進め、にぎわいの創出を図る。
	公園及び広場等の整備とともに、その活用について検討し、施設の魅力をより高めていく。	金公園では、中心市街地の回遊性の向上、にぎわいの創出の実現に向け、様々な利活用を促進する社会実験を実施した。	金公園でのイベント開催回数は増加しており、施設としての魅力が高まっていると考えられる。	さらなる利活用の促進に向け、継続的に社会実験を実施し、中心市街地のにぎわいの創出を図る。
	住み心地の良い環境の整備とともに、地域資源を活用した新たな都市の魅力創出を行う。	中心市街地にある本市を代表とする総合公園の岐阜公園において、自然環境を活かした歴史公園として再整備を進めている。	歴史・文化を感じることのできる、魅力ある施設として整備が進んだ。	中心市街地の核の一つとして、市民・来訪者の交流を促進するとともに、活発な市民活動を誘発し賑わいを創出し、中心市街地全体の活性化を図る。

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項